

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	総務市民局市民部地域振興課
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市旧古河鉱業若松ビル	施設類型	目的・機能
	所在地	若松区本町1丁目11番18号		
	設置目的	地元住民・団体、地域行事等との連携を図りながら、交流・文化・観光拠点として広く活用する。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・無	ペナルティ制 有・無	
指定管理者	名 称	中央興産株式会社		
	所在地	若松区浜町1丁目19番9号		
指定管理業務の内容		(1) 管理運営に関する業務 (2) 管理施設の使用許可に関する業務 (3) 管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 (4) 管理施設及び備品等の維持管理に関する業務 (5) 利用者、来館者の案内及び説明に関する業務 (6) 利用促進に関する業務 (7) その他、市が必要と認める業務		
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点																
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	4 5		4 2																
(1) 施設の設置目的の達成 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	3 0	5	3 0																
[評価の理由、要因・原因分析] 施設の設置目的に沿う地元住民・団体、地域行事等との連携を図った管理運営や自主活動を積極的に推し進めた結果、来館者は、当初の目標（45,000人）を大きく上回り、前年度比で21.1%増加した。 <table border="1" data-bbox="323 1021 1145 1216"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 20 年度</th> <th>平成 21 年度</th> <th>差数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館利用者</td> <td>29,238 人</td> <td>32,528 人</td> <td>3,290 人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>17,768 人</td> <td>24,394 人</td> <td>6,626 人</td> </tr> <tr> <td>来館者(合計)</td> <td>47,006 人</td> <td>56,922 人</td> <td>9,916 人</td> </tr> </tbody> </table> 利用制度の改善による利用促進を行い、定期利用者だけでなくイベント利用も増え、大きな効果を上げた。 団体観光への観光ルート提案、バス駐車場確保、観光ボランティアの育成など、観光客を受け入れるための様々な取り組みを行った。 市民センター等の公共施設への出前講演、区政行事への参加、学生との交流事業などへ積極的に取り組み、地域に根ざした活動を行った。 区政番組やマスコミへの取材協力、独自広報誌の発刊など、効果的な広報活動により、認知度も向上している。					平成 20 年度	平成 21 年度	差数	館利用者	29,238 人	32,528 人	3,290 人	見学者	17,768 人	24,394 人	6,626 人	来館者(合計)	47,006 人	56,922 人	9,916 人
	平成 20 年度	平成 21 年度	差数																
館利用者	29,238 人	32,528 人	3,290 人																
見学者	17,768 人	24,394 人	6,626 人																
来館者(合計)	47,006 人	56,922 人	9,916 人																
(2) 利用者の満足度 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 利用者への情報提供が十分になされたか。	1 5	4	1 2																

<p>その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。</p>																											
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>利用者アンケート等の結果、「利用しやすさ」について、88%が好評価を回答している。また、「職員の対応」についても、94%が良かったと回答している。</p> <p>利用者の声を受け、新たに「登録クラブ制度」を発足させ、利用促進を図った結果、利用者の増加へつながった。</p> <p>イベント情報等を館内掲示するに留まらず、広報紙発行やマスコミへの情報提供等により、広く情報提供に努めている。</p>																											
<p>2 効率性の向上等に関する取組み</p>	<p>35</p>	<p>26</p>	<p>26</p>																								
<p>(1) 経費の低減等</p> <p>施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>	<p>25</p>	<p>4</p>	<p>20</p>																								
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>予算書の歳出見込額と決算書の歳出実績額を比較した場合、3.1%減少している。</p> <table border="1" data-bbox="323 1218 1238 1317"> <thead> <tr> <th>平成21年度</th> <th>予算書</th> <th>決算書</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出額</td> <td>10,980,000 円</td> <td>10,641,623 円</td> <td>338,377 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>歳出額を前年度と比較した場合、10.7%減少している。</p> <table border="1" data-bbox="323 1411 1270 1509"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出額</td> <td>11,923,054 円</td> <td>10,641,623 円</td> <td>1,281,431 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>エコ活動による光熱水費の削減、再委託内容の見直しによる委託費の削減など、創意工夫による効率的な施設管理を行い、施設維持管理費を前年度比20.7%減少させている。</p> <table border="1" data-bbox="323 1697 1238 1796"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設維持管理費</td> <td>3,808,699 円</td> <td>3,019,365 円</td> <td>789,334 円</td> </tr> </tbody> </table>				平成21年度	予算書	決算書	差額	歳出額	10,980,000 円	10,641,623 円	338,377 円		平成20年度	平成21年度	差額	歳出額	11,923,054 円	10,641,623 円	1,281,431 円		平成20年度	平成21年度	差額	施設維持管理費	3,808,699 円	3,019,365 円	789,334 円
平成21年度	予算書	決算書	差額																								
歳出額	10,980,000 円	10,641,623 円	338,377 円																								
	平成20年度	平成21年度	差額																								
歳出額	11,923,054 円	10,641,623 円	1,281,431 円																								
	平成20年度	平成21年度	差額																								
施設維持管理費	3,808,699 円	3,019,365 円	789,334 円																								
<p>(2) 収入の増加</p> <p>収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。</p>	<p>10</p>	<p>3</p>	<p>6</p>																								
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p>																											

予算書の収入見込額と決算書の収入実績額を比較した場合、0.03%減少している。

平成21年度	予算書	決算書	差額
歳入額	10,980,000円	10,976,545円	3,455円

利用者の声を受け、新たに「登録クラブ制度」を発足させ、利用促進を図った結果、クラブ利用者だけでなく他イベント利用者も増加し、収入が前年度比9.4%増加となった。

	平成20年度	平成21年度	差額
利用料金収入	2,902,900円	3,175,550円	272,650円

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		14
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	10	4	8
施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。			
職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
<p>施設の管理運営にあたり人員は適切に配置されている。</p> <p>職員の資質・能力向上を図る取組みについては、適宜館内研修の実施など、必要な水準の確保が図られていた。</p> <p>積極的に団体観光客を受け入れ史跡案内するなど、地域活性化へ貢献している。</p> <p>地域と連携した若松南海岸通りイルミネーションを開催し、にぎわいづくりに貢献している。</p> <p>地域や関係団体との協働については、各種連絡会議へ出席するだけでなく、地域への出前講演や区政番組「ど〜かい！若松」への協力などを積極的に行っている。</p>			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	6
施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

個人情報保護に関しては、プライバシーポリシーを提示し、個人情報を利用する際は必ず施設利用者の承認を得るなど、必要な取組みがなされている。

利用者の声を受け、新たに「登録クラブ制度」を発足させ、利用促進を図った。適切な会計事務を行っており、問題はない。

消防訓練の実施を含めた防火対策や防犯、安全対策に努めて、事故などの発生は、報告されていない。

【総合評価】

合計得点	82	評価ランク	B
[評価の理由]			
積極的な各種の取組みが、大きな効果を上げている。			
端的な数値である「来館者数」「施設維持管理費」「利用料金収入」が改善しており、指定管理者の優れた手腕が、高く評価される。			
しかも、火野葦平没後50年記念行事へ協力、近代化産業遺産へ登録されている他施設との連携などに着手しており、次年度以降についても成果が期待される。			
[今後の対応]			
待遇・安全対策・危機管理等の内部管理を向上させるため、職員配置や研修等の更なる取組みを要望する。			

[北九州市指定管理者制度推進会議（評価部会）の意見]

地域と連携したにぎわいづくりや、団体観光客の受け入れによる利用者数の大幅な増加及び、光熱水費の削減や再委託の見直し等による経費の大幅な削減は高く評価できる。今後とも地域の関係団体との連携を深めつつ、利用者にとって魅力ある施設の管理運営に努めていただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		
5	100%	良 い	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%		目標（計画）を上回る管理運営がなされている
3	60%	普 通	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている
2	40%		目標（計画）を下回る管理運営がなされている
1	20%		目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる
（合計得点が90点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる
（合計得点が80点以上90点未満）
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
（合計得点が60点以上80点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
（合計得点が40点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
（合計得点が40点未満）